

市民意見の反映方法について

市民意見を反映する方法について皆さんからいただいたご意見をまとめました。

(条例検討委員会 アンケート より(回答 14/25))

問1： 「市民に向けて行う、市民意見の反映のための取り組みはどのようなものが良いと思いますか」

既存のメディアを利用する。

広報やTV、ホームページなどをもっと利用する。

アンケートの実施、意見の公募を行う。

広報PR委員会を中心に広報誌を作成し、独自に市民向けPRを行う。

パブリックコメントを実施する。

パブリックインボルブメントを実行する。

市民意見を聞く前に、委員会での意見交換を優先し、その後関係する団体に意見を聞く。

各種意見交換会を開催する。

問2： 「市民との意見交換の手法として、どのような論点についてワークショップを行ったら良いか」

総合計画の章立てに沿って住民の権利、参加・義務等について意見交換する。

分科会で話し合った論点を市民に提示する。

問3： 「ワークショップを行う際、参集する市民の範囲は」

市内で活動している様々な分野の団体や学生の声を積極的に取り入れたい。

公募や市民全体を範囲とすべき。

少数の意見も大切にすべき。

【意見のあった団体】

次代を担う世代、PTA、女性や子育て中の方、中・高校生、地域協議会員、社会経験豊かな方々(団体推薦) 上田市総合計画審議会委員

問4： 「委員以外から出された意見を、どのように検討に反映させていったら良いか」

貴重な意見として尊重したい。

分科会・全体会で取り上げたい。

自分たちの考えをしっかりと持ち参考にしたい。

委員以外の方の意見であっても、委員会に上程し、全体会で協議し反映したい。

委員以外の市民の意見・提案を大切に(特に少数意見も大切に)し、集まってきた意見を整理・分類し、各分科会で議論し反映したい。

意見反映のために最も重要視すべき柱(信条)を定めたくて、多くの意見を取り入れたい。

自由意見

先行事例を参考に上田市の現状と置き換えて、どのようなものが必要か十分検討したい。

委員同士の情報交換会(懇親会)を行いたい。

市民向けのルールは、細かくしすぎず、理念の方向性を示すのみとし、自ら考え、自ら行動、自ら確認・反省する力を育てる余地を残したい。行政、議会は、示せる責務は具体的明確にしたい。

委員会からの意見をどの様な基本姿勢で取り上げるのか理事者との話し合いが大切。

市民の意思の最終決定機関としての議会とのコミュニケーションを早めのタイミングから実現したい。